

# アムGENKI!

## 道場とは？



古賀道場で英語を学ぶ理由、目的とは？  
 古賀道場で空手を学ぶ理由、目的とは？  
 英語教室でなく、英語道場である意味は？  
 空手教室でなく、空手道場である意味は？  
 いったい違いはなんなのか？

空手が道場なのは、イメージしやすいが、英語が道場なのはなかなかイメージしにくいですね。英語道場って英語教室と何が違うの？

そもそも「道場」ってなんだろ？

もともと「道場」とは、釈尊（しゃくそん）が菩提樹の下、悟りを開いた場所である金剛座を表す言葉であるとされていますが、現在では、芸道、武道の修練の場所としての意味合いがあります。日本武道協議会が定めた武道憲章の中では、「道場は、心身の鍛錬の場であり、規律と礼儀作法を守り、静寂、清潔、安全を旨とし、厳粛な環境の維持に努める。」と定義されております。道場とは、神聖な場所であり、その神聖で厳粛な場所に身を置いて己の精神身体の修養を行うことを目的とする場所であるようです。教室は、それそのものを教わる場所である、に対して、道場は、己自身がそれそのもの向き合い、そこで鍛錬、修練を行い、自分自身の修養を果たす場所という捉え方ができます。

すなわち、道場とは、何かを教わる場所ではなく、自分自身を鍛え、育てていくことを目的とする場所となります。例えば、英語教室は、英語を教わることを目的としますが、それが、英語道場となった場合は、英語学習を手段として、己自身を鍛え、成長させていくことが目的となり、そもそもの目的が違ってきます。自分自身を鍛え、成長させていくことが目的となる為、そこには高い志が必要となります。自分自身が進むべき、進みたい「道」がなければ、自分自身を鍛える意味が曖昧となり、成長は望めません。道場において学ぶということは、そういうことを意味するのだと思います。

また、道場とは、場所でもあり、それに向き合う自分の心の在り方で自分自身も道場となり得ます。

英語学習、また空手修行を通じて己の心の修養を目的に行う中で、それに向き合う自身の心が神聖で厳粛なものであれば、それ即ちそれも道場となり得ると考えられます。道場とは場所でもあり、自分自身の心のありようでもあるのです。なのでどこにいても道場での学習、修行は続けられるのです。

古賀道場門弟の皆様方、また、保護者の皆様方には、空手道に向き合う自分自身（お子様自身）が、英語学習に対する自分自身（お子様自身）が、道場で学ぶ目的を明確にし、その目的に向かって確実に前進しているのかを、今一度で確認いただければと願います。

道場は、自分自身を鍛え育てていく場所であるので、自分自身の進むべき「道」を明確にし、それに向かって邁進し、達成、到達を目指すことが重要です。そして、道場は、自身の心の有り方次第で帰るべき場所となり、寄り処ともなる大切な場所となるのです。

# Speech Festival スピーチフェスティバル中高生の部

令和5年10月13日(金)

本会場では開催できなかった、スピーチフェスティバル中高生の部を10月13日(金)に夢の学校教室で開催いたしました。中高生は課題文ではなく、作文を発表します。各々が伝えたいことを作文にするので、長文となる為、難易度も上がります。暗記するのも大変です。今回の中高生のスピーチは準備も不十分だった(中高生は何かと多忙なので)のか、出場者は自分のスピーチを暗記することが出来ずに発表となりました。今回、ジャッジを務めていただいた青柳達也先生より、大会後、今回の出場者に対して、とても有難いアドバイスをもらう機会をいただきました。

英語とは、言語であり、思いを伝えることを目的としたコミュニケーションの為のもので、先ずは伝えようとする努力が必要であること。例えば、表情、声の抑揚、ジェスチャーなども工夫し、どう言いたい事をつたえるのか、といったテクニックやコツについてアドバイスをいただきました。また、どれだけ学習しても会話できるようにならない日本の英語教育の限界も知るべきである。そして、自分自身が英語を話せるようになるために英語学習をこの古賀道場で続けていることを思い出し、何のためにこの古賀道場で英語学習を続けているのかを忘れずに、そして、いつの日か、自分の力で海外へ挑戦してみたいと伝えていただきました。

今回、出場した生徒たちは、自分の疑問を青柳先生に聞いたり、青柳先生の海外での経験談話など聞くことが出来たりと、とても有意義な時間だったと思います。

今回のスピーチフェスティバルは、道場で英語を学ぶ若者たちの良い刺激となり、更に自分の英語学習を深めるきっかけとなる機会となったと実感しております。



## 県民スポーツ大会、古賀道場先生たちが大活躍！

10月15日(日) 次郎体育館

今年の県民スポーツ大会は、大いに盛り上がりました。佐賀県各市町から選手が集い、また多くの応援者が集まり会場の次郎体育館はとても賑やかでした。

佐賀市チームは、昌大先生、翔汰先生、大喜先生、竜成先生と古賀道場から4人が出場しました。古賀道場の先生たちが出場するという事で、道場の子ども達、保護者の方がたくさん応援に駆けつけていただき、熱い声援をいっぱいいただきました。

今回の目標は、団体形5位、団体組手優勝、そして総合優勝、でした。結果、練習不足甚だしい、当日ふっつけ本番レベルの不安だらけの団体形で、なんと！目標の5位入賞を果たしました。

さあ、いよいよ本番の団体組手です。初戦の対戦相手は、宿敵、鳥栖市。侮れないチームです。先鋒竜成、次鋒翔汰、大将昌大で挑みました。先鋒戦、竜成の相手は高校時代のしぎを削ったライバルです。意地でも負けられません。その気合が空回りしたのか、先取を取られ、取り返すも最後までペースを掴めず、惜しくも敗退、佐賀市チーム厳しいスタートとなります。続いて次鋒の翔汰の相手はスピードが売りの若い選手。この日の翔汰は本当に安定してました。全く不安を感じさせない落ち着いた試合で相手をねじ伏せ、1-1のタイとします。そして大将戦、昌大に望みをつなぎます。大将戦の相手はこれも若い選手で、序盤、苦戦を強いられます。相手に先取を取られ、なかなかペースを掴めず、焦る試合展開が続きます。とにかくハラハラしました。しかし、ここは試合巧者昌大！徐々にペースを掴みジリジリ追いつくと、最後は逆転に成功！大将戦を勝利としました。辛くも佐賀市チームは初戦を勝利で飾りました。

準決勝みやき町戦でも、翔汰の活躍で危なげなく勝ち上がり、迎えたファイナル、先鋒竜成、次鋒大喜、大将昌大で挑みます。初戦、竜成の相手は、こちらも試合巧者、今泉望選手。さすがに強い！竜成も押し返すものの、最後は上手さで相手が上回り、初戦を落としてしまいました。次鋒戦、大喜VS青山選手、巨漢の青山は大喜より一回り大きい選手で圧が半端ない！大喜が青山に勝つのは至難の業。誰もがそう思っていたと思います。試合展開も終始青山がリードする展開。ここで負けたら、大将戦まで繋げず佐賀市チームの敗退となってしまいます。残り10秒、青山の上段突きがさく裂し、2-3となり、万事休す。主審の「続けて初め！」の発声と共に、大喜が間合いを詰めていきます。残り5秒、青山も間合いを詰めさせないように後退、なかなか間合いを詰められずにいた、残り1秒、大喜の起死回生の裏回しが相手の上段を捉え、奇跡のブザービート！5-3と逆転に成功！見事勝利を勝ち取りました。会場が一番わいた瞬間でした。1-1のタイとして登場したのが、大将昌大！これに勝利すれば団体組手優勝！この試合、一番昌大のがってました！大技も決まり、8-0と快勝！団体優勝を果たしました。

総合優勝は、形3位、組手準優勝の吉野ヶ里となりましたが、2位決定戦で佐賀市、鳥栖市、小城市が代表選を行うこととなりました。佐賀市VS鳥栖市では、今回一番の安定感で負け知らずの翔汰が鳥栖のエース、佐竹と対決！あの佐竹を寄せ付けられない上手い組手で見事勝利！圧巻でした。

続く、佐賀市VS小城市戦は、竜成がしっかり占めてくれて、佐賀市は総合準優勝となりました。

今回は、本当にたくさんの声援の中、出場した先生たちも試合を大いに楽しめたようでした。先生たちも子ども達が見ているので恥ずかしい試合は出来ないといい刺激となったようです。子ども達に雄姿を見せることが出来た本当によかったです。応援本当にありがとうございました。

